

## 【概要】 2013年度 フラット35利用者調査

### I 調査の概要

フラット35を利用された方の社会的属性、住宅の概要等に関して、2013年4月から2014年3月までに買取り又は付保の承認を行った債権(借換えに係るものを除く。)のうち62,355件(2012年度:77,315件)について集計。

本調査はフラット35の融資制度が創設された2003年10月の翌年度である2004年度から開始しています。

### II 調査結果の主なポイント ※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

#### 1 年齢40歳以上の構成比は上昇

年齢の構成比に大きな変化は見られなかったが、年齢40歳以上の構成比が39.7%と、2012年度の36.8%を上回った。各融資区分別にみても、年齢40歳以上の構成比が上昇している。<p1、p3>

#### 2 世帯年収【注1】の構成比は大きな変化なし

世帯年収の構成比も大きな変化は見られず、最も構成比が高い世帯年収400～599万円の構成比は40.3%(2012年度:41.1%)となった。また、中古戸建及び中古マンションについてみると、世帯年収600万円以上の構成比が上昇している(中古戸建:25.7%(2012年度:21.7%)、中古マンション:35.5%(2012年度:32.7%))。<p2、p7>

【注1】世帯年収:申込ご本人の年収及び収入合算者の合算する年収の合計額

#### 3 戸当たりの所要資金は上昇

戸当たりの所要資金の全国平均は、注文住宅が3,015万円(2012年度比:1.6%増)、土地付注文住宅が3,637万円(2012年度比:2.1%増)、マンションが3,862万円(2012年度比:2.8%増)となるなど、上昇している。<p10、p12、p14>

#### 4 総返済負担率【注2】25%未満の構成比は上昇

総返済負担率25%未満の構成比が全ての種別で上昇し、全体では68.6%(2012年度:64.5%)となった。また、中古戸建及び中古マンションにおいては、総返済負担率25%未満の構成比が80%を超えている。<p2>

【注2】総返済負担率:世帯年収に占める全ての借入れの年間合計返済額の割合